

「かごしま子ども未来プラン2020」について

かごしま子ども未来プラン2020の要点

1 プラン策定の背景・考え方

国における動き

- ・H26年4月 「次世代育成支援対策推進法」延長 (H27.4～H37.3)
- ・H27年3月 少子化社会対策大綱
- ・H27年4月 子ども・子育て支援新制度本格施行
- ・H29年3月 働き方改革実行計画
- ・H29年6月 子育て安心プラン(待機児童)
- ・H29年12月 新しい経済政策パッケージ(無償化)
- ・H30年9月 新・放課後子ども総合プラン(待機児童)

少子化等に関する県民意識調査 (H30.11)

- 理想の子ども数3人, 実際に持ちたいのは2人
- 子育てをする上で悩みや不安を持つ人は78%

本県における少子化や子育てを巡る現状

- 未婚化, 晩婚化による少子化の進行に歯止めをかけることが必要
- 核家族化の進展, 地域のつながりの希薄化など, 家族や地域の状況に対応した子育て支援が必要

(プランの位置づけ)

国における新たな動きや, 本県における少子化や子育て支援の現状等を十分に踏まえながら, 本県の少子化対策や子育て支援, 母子保健対策等に関する施策を総合的に推進していくための指針として策定

※次世代育成支援対策推進法 (H27年度～R6年度) に基づく次世代育成支援行動計画
(前期計画: H27年度～R1年度 後期計画: R2年度～R6年度)

※次の計画と一体のものとして策定

- ・子ども・子育て支援事業支援計画
- ・母子保健計画
- ・子ども・若者計画
- ・貧困対策計画
- ・母子家庭等及び寡婦自立促進計画
- ・新・放課後子ども総合プラン行動計画

2 プランの基本理念・基本目標

基本理念

子どもを産み育てやすい鹿児島を目指して ～子どもたちの笑顔と未来のために～

基本目標

個々人の結婚, 妊娠・出産, 子育ての希望が, 県内のどこにおいても実現できる社会づくりを推進し, 少子化に歯止めをかけるとともに, 次世代の育成を支援します。

施策の方向

- 1 結婚, 妊娠・出産の希望を実現できる社会づくり 周産期・小児医療の提供 子ども医療給付制度の充実
- 2 安心して子育てができる社会づくり 保育士等の確保 子どもの安全
- 3 子どもの夢や希望を実現できる環境づくり 郷土教育の推進 次世代をリードする人材の育成
- 4 子どもたちが未来に希望を持てる社会づくり 児童虐待防止 子ども食堂の支援 教育支援の充実
- 5 ライフスタイルに合わせた働き方ができる社会づくり 仕事と子育ての両立支援 県内雇用の促進

※鹿児島の特徴を生かした子ども・子育ての取組 (該当施策を再掲)

※県内の取組事例やSDGsとの関係等(コラム欄の掲載)

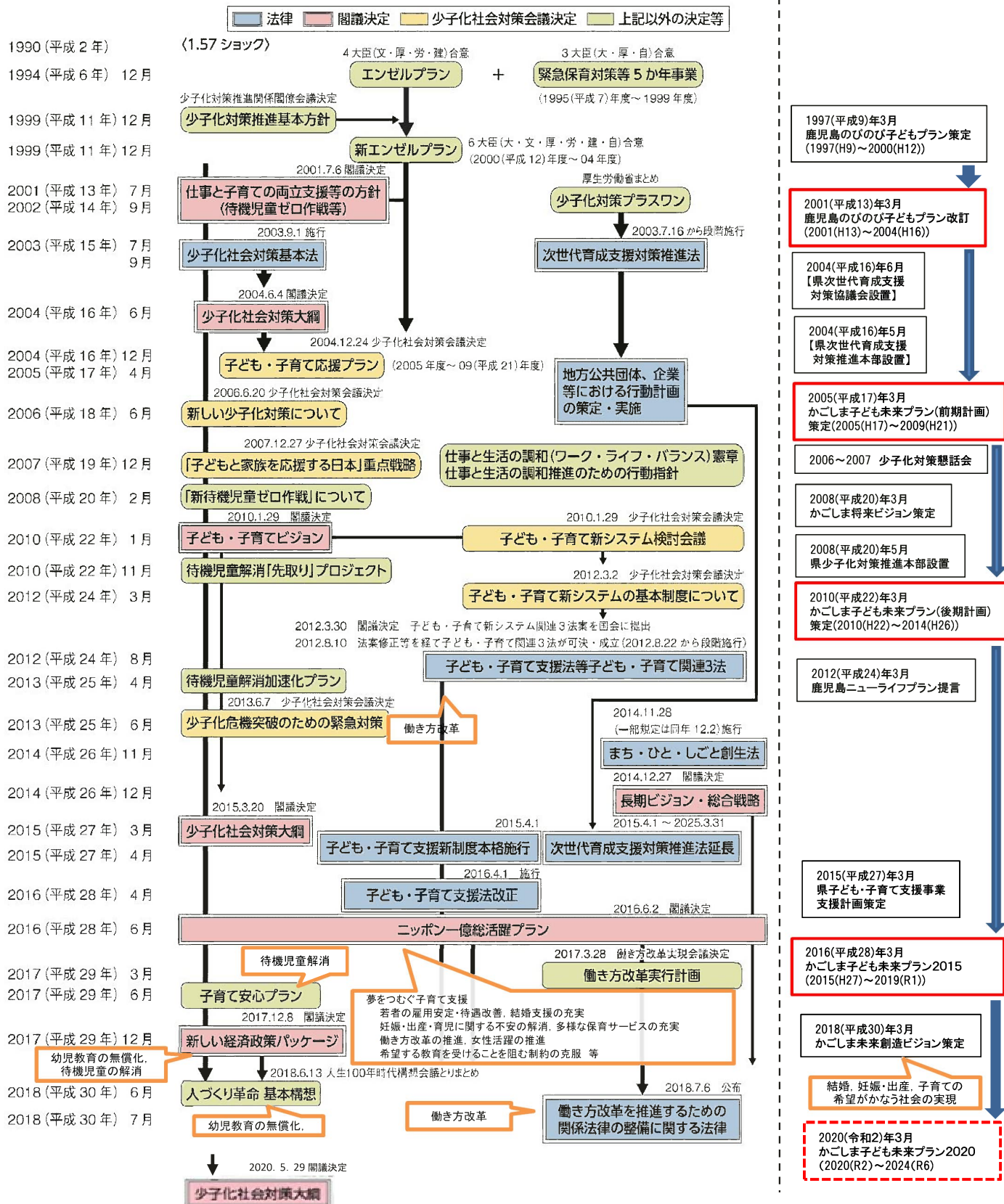
3 プランの推進体制

- 庁内の「少子化対策推進本部」において総合調整を行い, 全庁的にプランを推進
- 外部の「県子ども・子育て支援会議」において意見を伺いながら, プランを推進
- 具体的施策を計画的に推進していくための指標として, 少子化対策に直結する数値目標を設定
- 県民意識調査を実施し, 効果を検証

国と本県の少子化対策の経緯

<国の動き>

<本県の動き>



かごしま子ども未来プラン2020 体系図

